



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域の民話神話を活かした 神楽創作による地域資源のブランディング

表 博耀 (おもて ひろあき)

日本文化伝統産業近代化促進協議会(J-ART) 会長



○ 登録者情報

所在地

大阪府大阪市

略歴

1995年 日本文化伝統産業近代化促進協議会設立。大阪／ATC — APEC記念事業『伝統工芸師とJADC創作展』総合プロデュース。大阪／そごう — 伝統工芸師らによる実演販売『匠八人展』総合プロデュース。1996年 イタリア／スフォルチェスコ城・ギリシャ／アテネ — 国際文化交流のための日本伝統工芸展示会「ネオジャパネスク96」開催。1997年 フランス／在仏日本大使館 — 国際文化交流の為に日本伝統工芸展示会「ネオジャパネスク97～地空海～」開催。1998年 大阪／大阪城 — 『大阪城活性化事業』企画プロデュース。京都／伊勢丹 — 京都伝統工芸協会主催『京の工芸展』総合プロデュース。大阪・京都・神戸 — 『第2回アフリカ開発会議』に於ける文化セレモニーのプロデュース。大阪 — 『第33回世界スポーツ国際会議』(GAISF/OSAKA'99)日本文化プログラム『茶会』のプロデュース。東京 — 京都西陣織工業組合主催『第3回西陣裂地展』総合プロデュース。1999年 ドイツ／ベルリン(世界文化会館・ハンブルグ民族博物館) — 国際文化交流の為に日本伝統工芸展示会「ネオジャパネスク99」開催。2000年 韓国／LGセンター — 第3回ASEMIエキスポ『太陽の道』文化総合プロデュース。2001年 イギリス／王立V&A美術館 — 国際文化交流の為に日本伝統工芸展示会「ネオジャパネスク2001」開催。2002年 韓国／ソウル市国立劇場 — ワールドカップ日韓国民交流年祈念事業「ネオジャパネスク2002 SAVIOR II」開催。2003年 日本・アセアン交流年・日越外交関係樹立30周年記念事業「ネオジャパネスク2003 SAVIOR III」開催。2004年 アメリカ — 外務省「日米交流150周年」実行委員会認定事業「ネオジャパネスク2004」開催。2005年 経済産業省にて「ネオ・ジャパネスク(新日本様式)ブランド推進懇談会」へ参画。和歌山 — 地域の民話神話を用いたネオジャパネスクステージ「木の国真奏」を開催。新日本様式協議会 顧問就任 2006年 イギリス — 日英交流年「ネオジャパネスク SAVIOR IV」開催。イタリア／ピッティ宮殿(フィレンツェ) — 「ネオジャパネスク展」開催。2009年 東京／恵比寿ウエスティンホテル — 展示会「よみがえる日本の美～花伝～」開催。ハンガリー／メルリン劇場(ブタペスト) — 舞台ステージ「ネオジャパネスク2009/生固鎬昇」開催。2010年 大阪／枚岡神社 — 「創生平国神楽」を創作し公演。観光庁より観光振興の起爆剤として、「エンタメ観光マイスター」に就任。2011年 兵庫／淡路市伊弉諾神宮 — 出雲・高千穂・淡路 三大神楽祭 において、「創生国生み神楽」を創作。地域の民話神話を活かした神楽を地域住民とともに公演。イタリア／ペルゴラ歌劇場(フィレンツェ)・コッチャ歌劇場(ノバーラ) — 日・伊国際芸術交流「ジャパンフェスティバル」～東日本大震災 鎮魂と絆～開催。宮城／塩竈神社 — 塩竈みなの祭りにおいて、震災奉納創作神楽を奉納。2012年 和歌山／熊野 — 観光庁公募の国内旅行振興キャンペーン「がんばろう！日本」モニターツアー事業を企画、実施。和歌山／熊野 — 観光庁公募の国内旅行振興キャンペーン「がんばろう！日本」モニターツアー事業を企画、実施。島根県出雲市より出雲観光大使に就任。

○ 地域の民話神話を活かした神楽創作による地域資源のブランディング

取組の内容

地域資源のブランディングとして、地域に伝わる民話、神話をもとに、「創生神楽」と称するエンターテインメント性の高い神楽(舞台)を創作することで地域の観光客数増加に貢献しています。2009年より兵庫県淡路市の伊弉諾神宮において古来より伝わる「国生み」の伝承をもとに新たに「創生国生み神楽」を創作しました。2010年より出雲、高千穂の神楽を淡路に集結させ、開催される「三大神話神楽祭り」においては、毎年700～800人もの観光集客を生み出しています。2012年より、毎月22日に、正式参拝と合わせ、夜神楽を鑑賞するツアーを行い、毎回約50人もの集客を行なっている。2011年より地域の子供たち「神楽っ子」を募集して、舞の指導を行い、地域に深く根ざした観光財産へと昇華しています。

実績

三大神話神楽祭り 集客 約700～800人 売上 約200万円(チケット代のみ、物販費用除く)
毎月22日の夜神楽(正式参拝、神楽鑑賞のセットコース) 集客 約50名 売上 約10～15万円



伊弉諾神宮 神楽実演



伊弉諾神宮 集合写真



神楽指導①



神楽指導②

工夫した点や苦労した点

工夫した点は、地域の結びつきを強めるために「神楽っ子」として神楽を舞う子供たちの募集を行った点です。事業開始当初は、地域に豊富な資源が有りながら、お互いの協力体制が取れていないことに苦労しました。子供達が舞手として舞台に参画することで地域の人々同士の結びつきを強めることに成功しました。

ひとことPR

古典を踏まえたあたらしい神楽の体現者(創生神楽宗家)としてエンタメ観光マイスターに任命された日本でただひとりの観光大使である。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

NEO JAPANESQUE	http://neo-japanesque.net/nj-08contact.htm
----------------	---

連絡先

メールアドレス	j-art[アットマーク]neo-japanesque.net	その他	
---------	---------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る